

ALSI Confidential



情報漏洩対策シリーズ InterSafe ILP サーバーサイジングガイド

【対象製品】 Ver 7 以降
2022年6月版

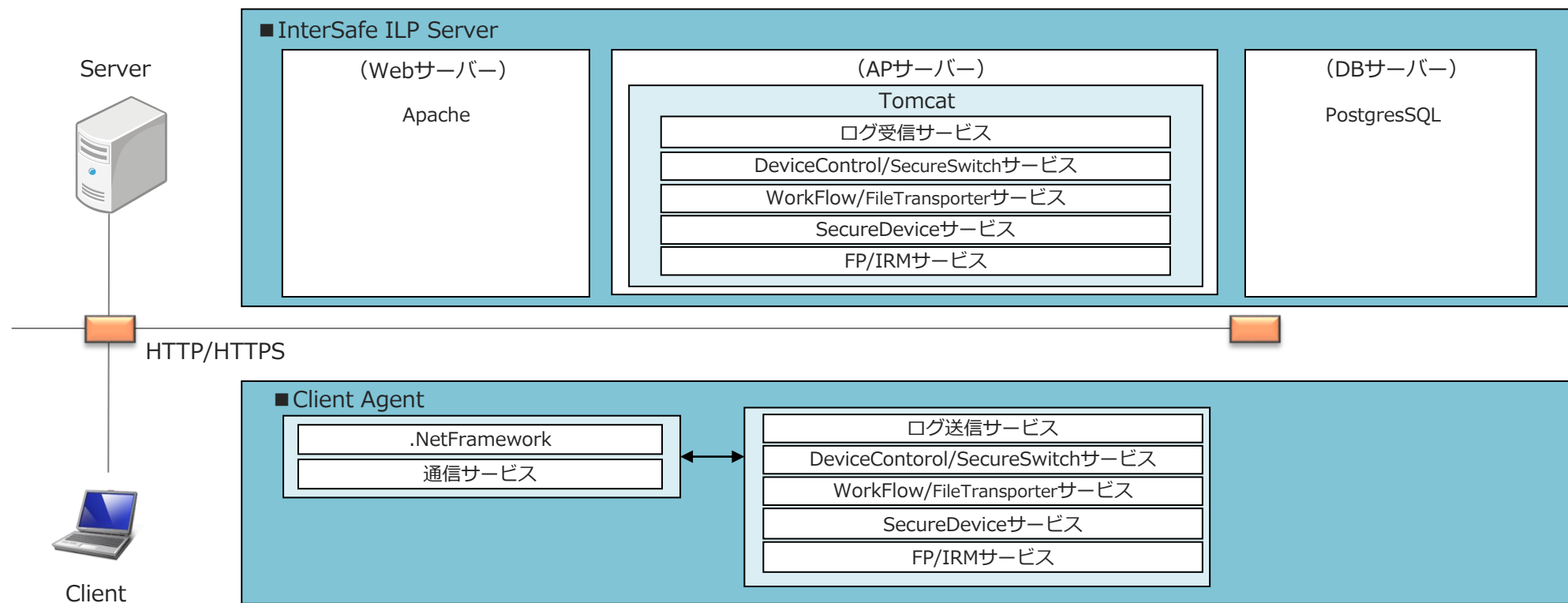


はじめに

本書は、アルプスシステムインテグレーション株式会社(以下、「当社」)が提供するInterSafeILP (Information Leak Protection) (以下、「本製品」)のサイジングのガイドラインを記載しています。

本書は、ILPのサーバを構築されるにあたり、あくまでそのスペックの目安をお知らせするものです。お客様環境で他アプリケーションを導入される場合などは、各アプリケーションで使用されるリソースなどを十分に考慮して、最大負荷に対応できるサーバー機器、クライアント機器のご用意をお願いいたします。

<システム構成>



ILPサーバースペックについて

想定利用ユーザー数 (最大同時接続数)	CPU (物理CPU)	Memory		必要なHDD容量 (WorkFlow利用時は別途要算出)
		WorkFlow以外の製品利用時	WokFlow利用時	
1,000u (100u)	Intel Xeon 4Core以上 (第8世代以降)	4GB以上	16GB以上	約3.5GB/月
10,000u (1,000u)	Intel Xeon 6Core以上 (第8世代以降)	8GB以上	32GB以上	約35GB/月
30,000u (3,000u)	Intel Xeon 8Core以上 (第8世代以降)	16GB以上	64GB以上	約100GB/月
50,000u (5,000u)	Intel Xeon 10Core以上 (第8世代以降)	32GB以上	128GB以上	約200GB/月
50,001以上	別途ご相談ください			

■ 説明

- ・本製品の最大同時接続ユーザー数は、利用ユーザーの10%と想定して推奨スペック情報を提示しています。
- ・システム利用領域として、常時約1GB程度のメモリを使用します。
※ ILP Clientからの接続増加に比例してメモリ消費が増大することはありません。

■ 注意

- ・上記スペックはあくまでも目安であり、安定稼働を保証するものではありません。
- ・ログ保存に関する必要なHDD容量については、別紙「InterSafeILP_ログシミュレーションシート」をご参照の上、お見積もりください。
- ・InterSafe WorkFlow（ファイル持出し/持込み 申請・承認システム）、FileTransporter（ファイル転送）ではファイルアップロード機能がありますが、アップロードされるファイルサイズにより必要なHDD容量が異なります。機能を利用される際の保存領域のサイジングは、アップロードするファイル容量を考慮して行ってください。また、アップロード先はILPとは別のサーバーを指定することが可能です。